

< じっくりコース >

7、ねらい(6/10) 複合図形の体積を、直方体に分割したり、欠損部分を引いたりするどちらかの考えで求めることができる。

8、本時の展開

過程	ねらい	学 習 活 動	教 師 の 支 援						
<p>つかむ</p> <p>活動する</p> <p>深める</p> <p>まとめる</p>	<p>具体物を見て、課題をつかむことができる。</p> <p>具体物を使った操作を通して、自分の考えをもつことができる。</p> <p>自分の考えをペアで交流し、全体交流のための資料を作ることができる。</p> <p>聞き手を意識して発表したり、自分の考えと比べて聞くことができる。</p> <p>学習したことを生かし、類似問題を確実に解くことができる。</p>	<p>1、具体物を見て、課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>複雑な形の体積を求める方法を考えよう。</p> </div> <p>2、問題 1 下ののような形の体積を求めましょう。</p> <p>3、自分の考えをもつ。</p> <p style="text-align: center;">いくつかの直方体に分けて考える <span style="margin-left: 100px;">大きな直方体を作りそこから引いて考える</span></p> <p>4、ペアで交流し、全体交流のための資料を作る。</p> <p>5、全体で交流する。</p> <p>資料を見せながら自分の考えを説明する。 疑問点について質問したり、話し合ったりする。</p> <p>ノートにまとめを書く</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto;"> <p>まとめ 複雑な形の体積を求めるには、いくつかの直方体に分けたり、大きな直方体を作ってそこから引いたりした考えをしていけばよい。</p> </div> <p>直方体・立方体や問題1のような形を「立体」ということをしる。</p> <p>6、全員同じ類似問題をやる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物を見せ、既習の問題と対比して課題化する。</li> <li>・問題の立体の見取り図を印刷して渡し、ノートに貼って、自分の考えを書く事を確認する。</li> <li>・具体物を見せて、問題に明記してある辺の長さを確認する。</li> <li>・<b>授業の流れを確認</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>個で考えをつくる。</li> <li>ペアで交流</li> <li>全体交流のための資料づくり</li> <li>全体交流</li> </ul> </li> <li>・取りかかれない児童に、<b>ヒントコーナー</b>に行くように指示する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;ヒントカード&gt;</li> <li>&lt;具体物を操作して&gt;</li> </ul> </li> <li>・実際にはない部分の長さ・問題に明記していない長さがわからない児童には、具体的な立体模型を使って、視覚的にとらえさせる。</li> <li>・長さはわかったが立式できない児童に対し、既習の学習をまとめた掲示物を示して支援したり、ペアでの学び合いを指示する。</li> <li>・一通りの考えが速くできた児童には、他の考え方で求めるように支援する。</li> <li>・見取り図が書いた用紙とかいていない用紙を自己選択させ、資料づくりをさせる。</li> <li>・自分の考えをわかりやすく書くための<b>表現方法を工夫</b>するように支援する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>短い文で</li> <li>色ペンを効果的に</li> </ul> </li> <li>・分割した考え・欠損部分を引いた考えの2通り出るように指名する。</li> <li>・3分割した考えが出た場合は認めた上で、2分割の方が立式や計算をするとき計算の誤りが少なくなることを理解させる。</li> <li>・直方体・立方体や問題1のような形を「立体」ということをおさえる。</li> <li>・類似問題の<b>答え合わせを各自でやるときのポイント</b>を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>間違った時 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">E</td> <td>長さは合っているか(数値)</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">E</td> <td>式は合っているか</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">E</td> <td>計算にミスはないか(電卓で確認)</td> </tr> </table> </li> </ul> </li> <li>・取りかかれない児童に個別指導をする。</li> <li>・自己選択で練習問題をやらせる。</li> </ul>	E	長さは合っているか(数値)	E	式は合っているか	E	計算にミスはないか(電卓で確認)
E	長さは合っているか(数値)								
E	式は合っているか								
E	計算にミスはないか(電卓で確認)								

< チャレンジコース >

7、ねらい(6/10)複合図形の体積を、直方体に分割したり、欠損部分を引いたりする考えで求めることができる。

8、本時の展開

過程	ねらい	学 習 活 動	教 師 の 支 援
<p>つかむ</p> <p>活動する</p> <p>深める</p> <p>まとめる</p>	<p>見取り図を見て、課題をつかむことができる。</p> <p>自分の考えをもつことができる。</p> <p>自分の考えができた仲間と交流し、全体交流のための資料を作ることができる。</p> <p>聞き手を意識して発表したり、自分の考えと比べて聞くことができる。</p> <p>学習したことを生かし、応用発展的問題を確実に解くことができる。</p>	<p>1、見取り図を見て、課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>複雑な形の体積を求める方法を考えよう。</p> </div> <p>2、問題 1 下ののような形の体積を2通りの考えで求めましょう。</p> <p>3、自分の考えをもつ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="text-align: center;"> <p>いくつかの直方体に 分けて考える</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>大きな直方体を作り そこから引いて考える</p> </div> </div> <p>4、ペアで交流し、全体交流のための資料を作る。</p> <p>5、全体で交流する。</p> <p>資料を見せながら自分の考えを説明する。 疑問点について質問したり、話し合ったりする。</p> <p>ノートにまとめを書く</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>まとめ 複雑な形の体積を求めるには、いくつかの直方体に分けたり、大きな直方体を作ってそこから引いたりした考えをしていけばよい。</p> </div> <p>直方体・立方体や問題1のような形を「立体」ということをしる。</p> <p>6、応用発展的問題を、自己選択して取り組む。</p>	<p>・見取り図と、既習の問題と対比して課題化する。</p> <p>・見取り図を各自のノートに書き、自分の考えを書く事を確認する。</p> <p>・具体物を見せて、問題に明記してある辺の長さを確認する。</p> <p>・<b>授業の流れを確認</b> 個で考えをつくる。 できた仲間と交流 全体交流のための資料づくり 全体交流</p> <p>・<b>自力解決に戸惑っている児童</b></p> <p style="padding-left: 20px;">&lt; 仲間との交流による学び合い &gt; &lt; 具体物を操作して &gt;</p> <p>・実際にはない部分の長さ・問題に明記していない長さがわからない児童には、具体的な立体模型を使って、視覚的にとらえさせる。</p> <p>・速くできた児童には、仲間と交流するように支援する。</p> <p>・自分の考えをわかりやすく書くための<b>表現方法を工夫</b>するように支援する。</p> <p style="padding-left: 20px;">短い文で 色ペンを効果的に</p> <p>・聞き手を意識した資料づくりができるように支援する。</p> <p>・分割した考え・欠損部分を引いた考えの2通り出るように指名する。</p> <p>・3分割した考えが出た場合は認めた上で、2分割の方が立式や計算をするとき計算の誤りが少なくなることを理解させる。</p> <p>・直方体・立方体や問題1のような形を「立体」ということをおさえる。</p> <p>・応用発展的問題の<b>答え合わせを各自でやるときのポイント</b>を支援する。</p> <div style="margin-left: 20px;"> <p>間違った時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 長さは合っているか(数値)</li> <li><input type="checkbox"/> 式は合っているか</li> <li><input type="checkbox"/> 計算にミスはないか</li> </ul> </div> <p>・取りかかれない児童には、よく理解している児童と学び合うように指示したり、個別指導をする。</p> <p>・自己選択で応用発展的問題をやらせる。</p>